alba edu.

2024年
子どもの主体性を育む発表大会
報告書
（2024年4月～2025年3月）

一般社団法人 アルバ・エデュ

達成目標

1．プレゼンテーション大会の開催
・実施回数：**4回** →**4回**
・参加人数：**40人** →**32名**
・アンケート調査：プレゼン大会前後でアンケートを比較行い、プレゼン大会後「自分の考えに自信をもつことができた」の項目について70%以上に向上する

2．企業協賛等による様々な職業について学ぶ授業の開催
・実施回数：**4回** →**4回**
・参加人数：**300人**→ **230人**

3．プレゼンテーションについて学ぶ授業の開催
・実施回数：**6回** →**10回**
・アンケート調査の実施：プレゼン大会後「自分の考えに自信をもつことができた」などの項目について70%以上に向上する
「話をするのが楽しくなった」→**88%**
「オノマトペを使用して表現できるようになった」→**66%**
「プレゼンテーションが好きになった」→**77%**
「自分の考えに自信を持つことができた」→**100%**

4．スタッフ向け「子どもの話す力支援スキル講座」の実施
・実施回数：2回 →**3回**
・参加人数：50名→**90名**
・アンケート調査の実施：「プレゼンテーションが子どもたちの生きる力を育むために必要なスキルであると思う」の回答が70%になる

開催授業1

～いんぱくオリジナルキャラクターを作ろう！どうやって作った？ 何を考えた？ あなたの物語を伝えよう～

協力企業：印刷博物館

企業様授業

6月24日　印刷とキャラクター作りを学ぶオンライン授業

参加拠点数　5　　申し込み人数34

・印刷の知識クイズ
・博物館のお仕事とは
・キャラクターの作り方
・プレゼン大会について

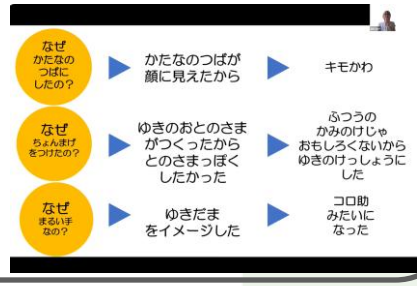


プレゼン授業

7月3日　自分の考えや物語を相手に伝えるプレゼン授業

参加拠点数　4　　申し込み人数30

・「考え方」の方法を知る
・「考えの深め方」を知る
・一番伝えたいことはなにか絞り込んでみる
・良い声の出し方を練習する



プレゼン大会

7月31日　プレゼン大会

参加拠点数　3　プレゼン人数6





成果物~印刷博物館~









〇児童作品冊子　〇キャラクターキーホルダー
〇印刷博物館　メタバース展示　〇印刷博物館ポッドキャスト出演
https://creators.spotify.com/pod/show/printing-museum/episodes/37-e2okl3c

開催授業2

キッズデザイナーに挑戦！誰かの役に立つ服を考えるプレゼンフェスティバル

協力企業：株式会社エスケア様

企業様授業

7月31日　服のデザインの秘密・デザインってどう作られるの？

参加拠点数　8　　申し込み人数54

・洋服のデザインの考え方
・デザインの書き方
・みんなのデザインをみてみよう



プレゼン授業

8月7日　プレゼンの秘密・自分の気持ちを相手に伝える方法

参加拠点数　7　　申し込み人数44

・先週の振り返り
・何かに例えて考える
・オノマトペで表現してみる
・話す練習をしてみよう



プレゼン大会

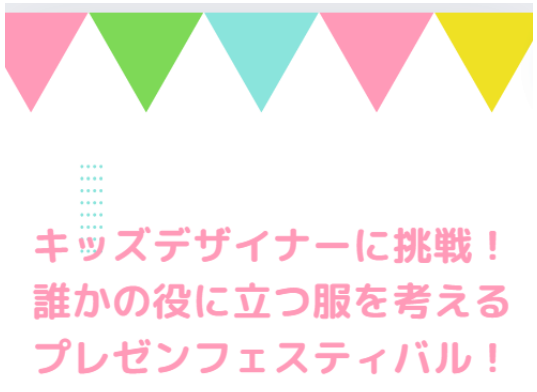
8月21日　プレゼンフェスティバル

参加拠点数　6　プレゼン人数10





成果物~キッズデザイナーに挑戦~











洋服アイデア 児童ら提案

体の不自由な人に対応

鳴門

洋服のアイデアを発表する児童（左奥）＝鳴門市撫養町斎田

地域の子育て支援の場「子ども第三の居場所」を利用する鳴門市の児童と生徒が、体が不自由な人や被災者などを考慮してデザインした洋服のアイデアを、同市のアパレルメーカー丸久で発表した。

9～13歳の6人が、自ら描いたデザインを手にプレゼンテーション。車椅子に乗ったまま着脱しやすいようファスナーの位置などを工夫したワンピースや、声を出さずに助けを求められるよう生地の裏面に「HELP」と印字された衣類などのアイデアを披露した。

同社社員らは「便利な機能だけではなく、普段の着心地まで考え込まれていて感心した」などと話した。

宮城県石巻市を訪問した経験から寝袋としても利用できる防寒着を考案した鳴門第一中1年の宇都宮匠真さん(13)は、「メーカーに直接プレゼンするのは緊張したけど、着てみたいと言われてうれしかった」と笑顔を見せた。

子どもにプレゼン技術を教える活動に取り組む一般社団法人「アルバ・エデュ」（東京）が企画し、11月21日に開いた。

子ども第三の居場所は、日本財団（東京）がB&G財団と連携して全国で展開している。県内では徳島、鳴門、阿南3市に計4カ所ある。

（吉田嘉）

〇2024年11月21日　徳島県の服飾企業丸久株式会社にプレゼンテーション訪問

プレゼン大会での児童のプレゼンが素晴らしかったため、服飾企業にぜひプレゼンしたいと考え、アルバ・エデュが営業を開始。徳島の企業が快諾してくれプレゼンテーション訪問が実現。
児童6名が困りごとを解決する服についてプレゼンテーションをした。
その様子が徳島新聞に掲載された。

成果物～キッズデザイナーに挑戦～









〇令和6年度世代を超えて開かれつながる社会教育推進事業「SeDaTuNa成果報告会及び展示会においてゲストプレゼン

https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kyoiku/shogaigakushu/7240730/

丸久株式会社さまのプレゼン訪問を聞きに来てくださった徳島県教育委員会の方およびSeDaTuNa運営団体のとコミュニケーションをとり事業報告会において児童3名がゲストプレゼン参加いたしました。

開催授業3

「未来のケーキって？　100年後も愛されるケーキを考えよう！」
協力企業：株式会社不二家様

企業様授業

2月6日(木)16:30～17:30　不二家様ケーキの授業
参加拠点数　9　　申し込み人数59
・不二家のお仕事
・工場をみせてもらおう
・ショートケーキが愛されるひみつ
・質問タイム



プレゼン授業

2月14日(金)16:30～17:30　考えたケーキの思いを伝えるプレゼン授業
参加拠点数　9　　申し込み人数59
・先週の振り返り
・何かに例えて考える
・オノマトペで表現してみる
・話す練習をしてみよう

プレゼン大会

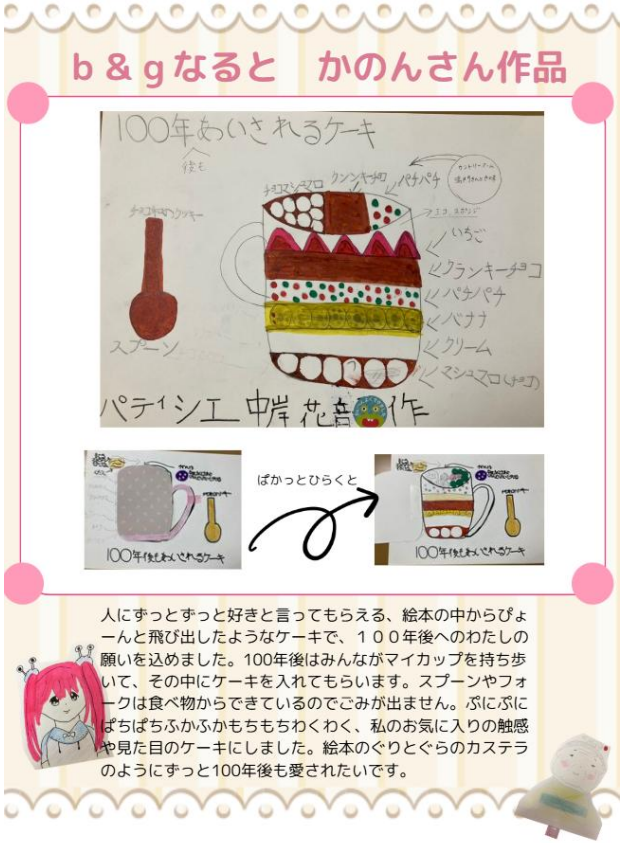
2月28日(金) 16:30～17:30　プレゼンフェスティバル！
参加拠点数　9　プレゼン人数10

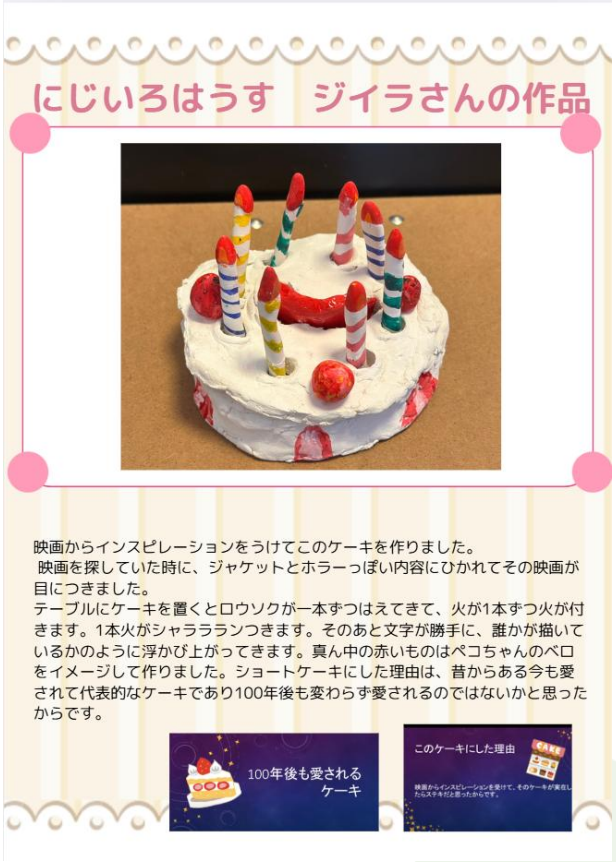




成果物～不二家～







〇児童作品冊子
〇不二家ウェブサイトおよびSNSにおいて子どもたちの作品掲載予定
（2025年4月25日予定）
https://www.fujiya-peko.co.jp/mori/

開催授業4

「いままでにない図鑑を考えよう」
協力企業：株式会社小学館様

企業様授業

3月4日(火)16:30～17:30　いままでにない図鑑を考えよう
参加拠点数　10　　申し込み人数65
・図鑑の歴史
・図鑑の作り方
・質問タイム





プレゼン授業

3月12日(水)16:30～17:30
参加拠点数　10　　申し込み人数65
・先週の振り返り
・何かに例えて考える
・オノマトペで表現してみる
・話す練習をしてみよう



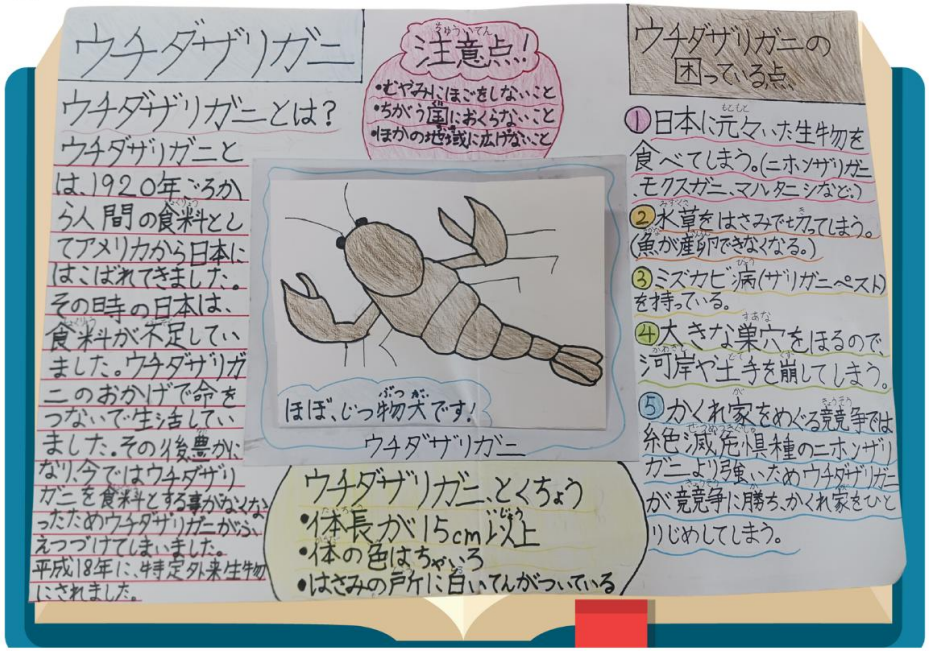
プレゼン大会

3月27日(金) 16:30～17:30　プレゼンフェスティバル！
参加拠点数　6　プレゼン人数　6




成果物～小学館～

b＆gひがしかぐらひじり野　こはるさん





北川 吉隆様より

楽しい図鑑をつくってくださりありがとうございました。
本職の私たちが思いもしない図鑑ばかりで、とても刺激を受けました。
「ヤラレタ！」
感がすごかったです。
今回は、皆さんがそれぞれ興味のあることを図鑑にしてくださったと思いますが、図鑑に限らず、興味のあることをトコトン突き詰めていくと、毎日がとても楽しいと思います！



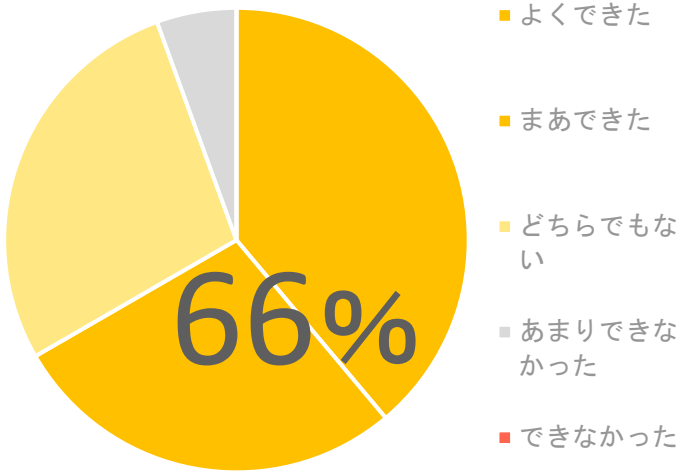
福原智絵様より

これまでにないものを考えるって、ワクワクしますよね。そういう皆さんの気持ちが、私たちにも伝染しました。
今回のテーマは図鑑でしたが、どんなテーマであっても、大人たちに「ヤラレタ！」と思わせてしまうようなものを考えるのは面白いものです。
新しいものを、考えて、伝えて、仲間を集めて、形にして、世の中を新しく良い場所にしていってください！

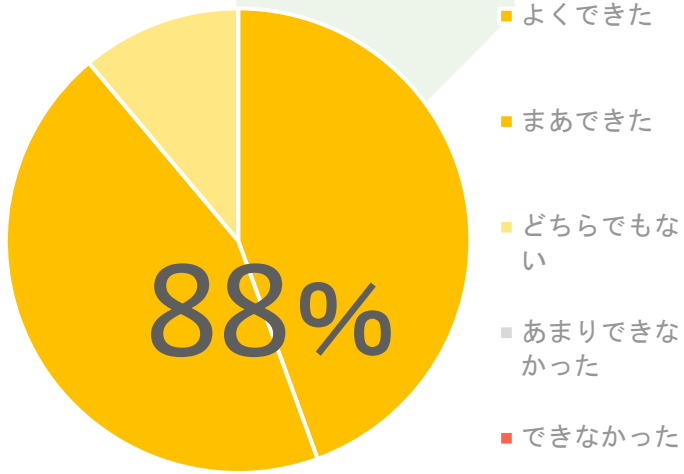
○児童作品デジタル冊子

【プレゼン大会終了後アンケート】n＝18（同一拠点、別スタッフの回答含む）

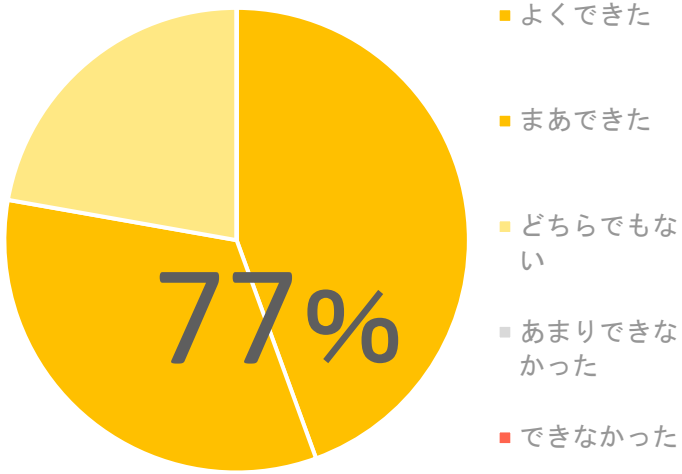
授業やプレゼン大会を通して、子どもたちは
「オノマトペを使用して」表現できるようになったと思いますか？



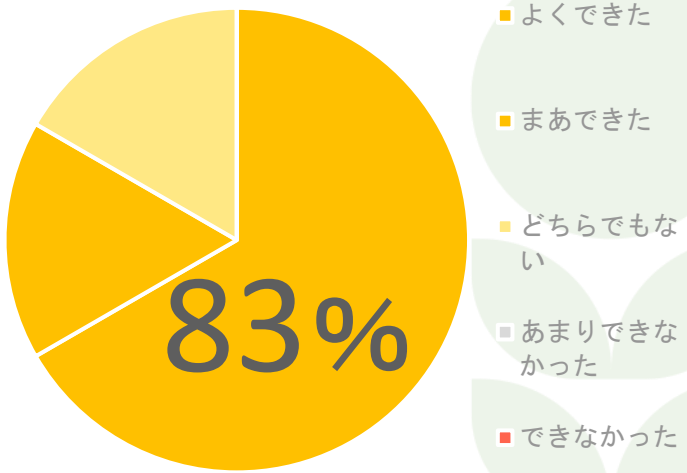
子どもたちは**「人前で話すのが怖くなくなった」**
「話すのが楽しくなった」と思いますか？



プレゼン大会を通して
子どもたちは**「プレゼンテーションが好きになった」**と感じましたか？



プレゼン大会を終えた後
子どもたちは**「自分の意見を発表することに自信を持つようになった」**
と感じましたか？



【プレゼン大会終了後アンケート】n＝18（同一拠点、別スタッフの回答含む）

授業やプレゼン大会を通して、子どもたちが特に印象に残ったエピソードや出来事を教えてください。

- 終わった後に**「次いつなん？」「次もプレゼン出たい」**と聞いてくるようになっています。
- 話す内容を考え、アイデアがどんどん広がってきたこと。
- **いつもは返事さえなかなか時間がかかる児童**なのですが、自分でやることを決めてからは他の児童が遊んでいても練習に誘うとさっときてくれて、スタッフのアドバイスもきちんと覚え**自主的に参加出来た**こと
- スタッフと一緒に内容を考えていく過程でたくさんのアイデアやひらめきに立ち会えたこと。デザイナーの先生に評価をもらえた時の表情は格別でした
- 最初は緊張していた子どもが自分のデザインした作品を褒めていただくことにより表情が柔らかくなり、**最後には発表を楽しむことが出来た**。
- 練習するごとに自信がつき、表情や声のボリュームも違ってきました。本番では緊張も見られましたが、**発表後、すごい達成感を感じている様子**でした。
- 当日まで、**やっぱりプレゼンしない！と口にしていた子が、本番は堂々と発表し、やり抜く事ができた**。お迎えに来られたお母さんに誇らしげに話すことができ、親御さんも喜ばれていた。
- 今年度に入ったころから学校でも家庭でも複雑な状況にあり、晴れない表情でいた彼らが、今回の講座の話を聞いたときに**「こういう事がやりたかったんです」ととても嬉しそうに答えたのが印象的**でした。日々に「楽しみ」という希望の光を見せて下さり本当にありがとうございました。
- 今まで服のデザインについては女の子たちしか興味持たないという先入観を抱えていた。**今回のプロジェクトのおかげで男の子のデザイン力を発見**し、男女問わずキッズたちが楽しく服を描くシーンを見て感動した。
- 最初の内はプレゼンについてよく理解できず、何をするのかも分かっていない子が多かったですが、プレゼンの授業を受けて練習を繰り返す中で、**どうすれば聞いている人の目や耳を自分に惹きつけることができるか表現や音量や身振りなどを自分で考えて実践する姿**がみられました。また、プレゼン大会を終えたあと**「自分のプレゼンが一番良かったと思う」と自信満々に話してくれた姿が印象的**でした。

【プレゼン大会終了後アンケート】n＝18（同一拠点、別スタッフの回答含む）

授業やプレゼン大会を通して、子どもたちが特に印象に残ったエピソードや出来事を教えてください。

- 友達のプレゼンのために、何かサポートしたいと思う子が出てきてスタッフもとても嬉しかったです！安達さんの授業を通して**自然にオノマトペが文の中で出来るようになってきました**！本当にありがとうございます。
- **普段は発表を避ける子どもが自分の言葉で説明**できたことはよかった。
- 弊所が主に不登校児を支援している事からプレゼンなどに参加が難しい想定で居ました。しかしプレゼンを希望する児童が現れ、**積極的な姿勢を見せたことは他の利用児にも大きな影響を与えたように感じています**。
- プレゼン当日、学校から下校するとすぐに**自分から「練習するから聞いて！」と真剣に取り組む姿に感動しました**。また、その姿を見ていた子ども達が**自然と集まり静かに聞いていて「頑張れ！」「出来る！」と言葉がけをしていました**。「次は僕！」とやる気満々です。

【プレゼン大会終了後アンケート】n＝18（同一拠点、別スタッフの回答含む）

授業やプレゼン大会に参加して、子どもたちの表現力や話し方に具体的な変化を感じたエピソードがあれば教えてください。

- 自信がついたように思います。いつも体験活動の最後に拠点を代表してあいさつしてくれる子を探すのに苦労しますが、**最近プレゼン大会でお話した子がメモ無で代表でお礼を言ってくれる姿**があります。
- **自信が出てくると目線が上がり、しっかり話せるようになってきました。**また、周りの子たちに良い影響を与えてくれています。
- シャイであまり大きな声で話すタイプではない子が、**練習を重なる旅に大きな声がでるようになり顔つきも変わってきた**
- 伝えたいことを伝わるように話すを意識できるようになった
- 質問をしていただく中で**自分の作品を表現する言葉のレパートリーが豊かになり、自信もついた。**
- 実際プレゼンをする事で、「プレゼンとは」、というところをきちんと理解できていた。ただ発表するのではなく、**相手に伝える、伝えるにはどうすればわかりやすい？等、何度も練ることができました。**
- なかなかゆっくり話すことがむずかしく、本番の課題にしていたが、**本番は落ち着いて話すことができた。本人の自信**になった。
- ZOOM等の画面越しでの交流や発表をする様子を見たのは初めてでした。初回と第2回の発言の様子はマイクに声を拾わせることを意識した喋り方では無かったと思いますが、練習の甲斐あって**プレゼンフェスティバルの際は聴き取りやすい声を意識できていたように思います。**「プレゼンフェスティバル」で自分のデザインを見てもらいたい、伝えたい、という気持ちの後押しがあっての事と思います。「デザイン」と「プレゼン」どちらの要素が欠けていても成しえなかったことと思います。
- 最初はカメラの前で自分の作品を展示し、デザインした服を説明することが恥ずかしくて抵抗していた。**一人の子が一歩出して発表を頑張ったら、他の子もその楽しい雰囲気に惹かれて、カメラの前で展示する意欲が湧いてくるようになってよかった。**
- オノマトペなどを知ることで生活の中の会話でも、**こんなところにオノマトペがあったんだと気づいたり、逆に自分の感性でオノマトペを作り出す子もいました。**

プレゼンに参加した子は以前より堂々とした姿で発言をするようになったり、自分の内側の思いを言葉としてアウトプットできるようになったと感じることがあります。

【プレゼン大会終了後アンケート】n＝18（同一拠点、別スタッフの回答含む）

授業やプレゼン大会に参加して、子どもたちの表現力や話し方に具体的な変化を感じたエピソードがあれば教えてください。

- **顔が前を向いて話せるようになってきています**。また、保護者さんに発表の様子を動画でお見せするととても喜んでくれ感謝のメッセージいただいております。
- **他者に伝わりやすくするための配慮、工夫について他者（職員含め）話し合うことができるようになりました**。他の面々も**「挑戦すること」にポジティブな言動**が増えるようになりました。
- **みんなの前で発表することを楽しんでいます**。発表時、言葉につまったりしても待ってあげたり助けたりしてとてもいい雰囲気です。
- 甘酸っぱい・みずみずしいなどの**味や食感を伝える表現を使えたことに変化を感じた**
- 発表の機会を多く設定し、自分の思っていることや考えていることを自信を持って発表してほしいと願っています。機会があれば参加したいと思いますが、成果は今一です。ただ、**多くの機会を通して自信を持つことができるようになったのは確かです**。「こんなことを言えばいいんだね。」とく言いたいことを組み立てられるようになってきたのかなと思います。
- **原稿を用意しましたが、相手の目(カメラ目線)を意識して話そうとする姿が見られました**

【プレゼン大会終了後アンケート】n＝18（同一拠点、別スタッフの回答含む）

スタッフの皆様の感想をお願いいたします

- 最初は話すのも苦手な子ども達が人前で自分の想いをお話できるのかなとスタッフみんな心配しましたが、参加してみようかなと思う子ども達と一緒にいろいろテーマに沿って考えていたら、いつのまにか上手にできる様になっていて、私たちもとても嬉しいです。いつも全力でほめています。また、プレゼン動画を保護者と一緒に観て保護者さんもとても喜んでくれています。今後も是非継続してプレゼン大会があれば、もっと他の子も参加すると思うし、他の拠点の子ども達の発表もとても興味を持って聞いて（学んで）います。あだっち先生のフォローアップも充実していて、先生のお陰で毎回とても良い経験をさせていただいており、感謝しています。みんなに賞があるのも嬉しいです。
- 安達先生、いつもありがとう！これからもいろんなプレゼン大会あれば参加したいです！
- 大人でも発想が難しいキャラクターでしたが、子供の柔軟な発想に感心することが多かったです。何よりやる！と決めてからのやる気には目を見張りました。この経験がこれからの自信になればいいなと思います。ありがとうございました。
- ふつうのお絵描きになってしまいがちなところからコンセプトに合うものに寄せていくのが大変でしたが、説明を繰り返すうちに理解が進み、こうしたいからどうしたら良いか？を質問したり調べたり出来るようになり何度かプレゼン資料を作り直した力作でした。最初は恥ずかしくて考えるけど発表は嫌だと言っていましたが、何度も何度も練習して本番頑張れました。子供の底力を信じて良かったと思えた瞬間でした。
- 小滝先生の授業のときに、小滝先生のみが音声を出すようにしないと、聞いているほうはよくわからなくなりそうでした。進行はよいのですが、相槌やツッコミが入るとやや聞きづらかったです。全体を通して楽しい企画になっていたと思いますが、小学生を画面の前に1時間座らせておくのは難しいと思います。画面を通して子供達が交流するようにするといいと思いました。ありがとうございました。

【プレゼン大会終了後アンケート】n＝18（同一拠点、別スタッフの回答含む）

スタッフの皆様の感想をお願いいたします

- 3回に分けて段階を踏んでいただいたことにより、子どもたちも知識が深まり発表に向けて準備がしっかりできたように思います。こういった発表の機会が少ない子もいたのでどうなるか不安もありましたが、始まってみるとスタッフさんのお褒めの言葉や励ましの言葉のおかげもあり、自分のデザインに自信をもって発表することが出来ていました。終わった後の表情も良く、楽しく取り組むことが出来たようで良かったです。自己肯定感の向上にもつながったと感じています。ありがとうございました。
- 何度かプレゼンに参加させていただいていますが、その都度、参加した子に自信がつく姿や達成感を感じている様子を目にし、参加できてよかったなと感じています。
- その日の子どもの状態により練習をするのも大変でしたが、参加できてよかったです。他拠点の方の発表もすばらしく、刺激になりました。ありがとうございました。
- 皆さまの、全てを温かく優しく迎え入れて下さる雰囲気が子ども達にとってすごく心地よかったと思います。本当にありがとうございました。
- キッズにとってもスタッフとしての自分にとっても貴重な勉強となり、楽しい時間を過ごしてよかった。本当にありがとうございました！
- こういった大会や機会がないとプレゼンに取り組むことはなかったと思います。また、日本人の引っ込み思案な性格や人と違うことをすることが歓迎されない雰囲気の中で、プレゼンに取り組むことでもっと自分の好きな事や良いと思ったことを他の人に伝えて、気持ちを通わせるチャンスになったり、議論して相手を知ることができる機会になることは、今後の人生に大きな影響を与えてくれたと思います。ありがとうございました。
- 結果的に前出の利用児は作品提出のみをする形になりましたが、ご担当の安達様には直前までご配慮いただき、とても感謝しております。当日は代読をしていただく形を取っていただき、当該の児童はとても嬉しそうな様子でした。他利用児も動画を視聴し「すごーい！」と拍手して頑張った利用児を称えることができ、大変に有益な経験となったと思います。本当にありがとうございました。

【プレゼン大会終了後アンケート】n＝18（同一拠点、別スタッフの回答含む）

スタッフの皆様の感想をお願いいたします

- 何回も受講させていただいておりますが、いつも新鮮な気持ちで新しい発見があります。スタッフも子ども達に寄り添ってプレゼン準備する楽しみが出来ました。それに何より子ども達があだっち先生大好きで、大きな心で丁寧にサポートしてくださったおかげでの子ども達の話す力につながっています。また不二家さんのコメントは子ども達に大きな嬉しい自信に繋がっています。

  スタッフでは子どもたちに教えることができないこと、地域ではそのような題材で学ぶことがないことなど、とても貴重な機会をいただきありがとうございます。子どもたちがオンラインでつながって双方的にコミュニケーションを取れる環境にありながら、あまり他の拠点の子どもたちに興味を持っていないというか関心を持っていないのがとても残念で疑問でもあり。※安達さんや不二家の方々に対しての関心は高いです。
- 未来のケーキを考えよう！子ども達が抵抗なく興味をもってくれました。人前で話す。自分と言葉で伝える。等　私達スタッフも勉強になります。今後もチャレンジしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 今回のプレゼン大会を企画していただきありがとうございます。元々人前での発表も積極的に行い話すことも上手な子でしたが、表現力を伸ばし知識を広げるいい機会になったと思います。
- 初めての参加でスタッフが手探り状態だったので、子どもたちに十分な環境を用意することができませんでした。また図鑑作りに十分な時間をかけることができず、最後は仕上げることが精一杯の子どもたちが多かったです。
- 今回のプレゼン大会を企画していただきありがとうございます。元々人前での発表も積極的に行い話すことも上手な子でしたが、表現力を伸ばし知識を広げるいい機会になったと思います。